

平成16年度実施状況について

第6章 安全・生活基盤の分野									
番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
第1節 都市防災の強化									
196	防災体制の充実	総務局 危機管理室	大規模災害などに対応するため、災害用備蓄の充実や自主防災組織の育成、防災訓練などを通じ市民の防災意識の高揚を図るとともに、防災拠点や避難場所などの整備を図ります。	推進	推進	充実	備蓄品の購入や総合防災訓練を実施しました。また、新たに14自主防災組織が結成されました。	3 市民活動の支援	リーダー研修会などにより、自主防災組織の活動を発表していただき、他の自主防災組織の活動の参考となるよう情報提供を行いました。
197	震災予防のまちづくり計画の策定（再掲p67）	都市局 都市計画課	市全域や地域ごとの災害危険度判定調査を実施し、防災上の問題点の把握と市民への情報提供を進めながら、大地震に備える震災予防のまちづくり計画を策定します。	構想・検討	検討	全体構想策定（19年度） 地域別計画策定（20年度） 推進	全体構想策定に向けた検討を行いました。	-	-
198	河川の改修（準用河川・普通河川）	建設局 河川課	準用河川・普通河川の河川改修や排水機場の整備を進めます。	事業中	事業中	事業中	準用河川の整備率は61%、普通河川の整備率は68%となりました。また、皇山川排水機場が完成しました。	7 健全な行財政運営	工事にあたっては、コスト削減の観点から、当該工事現場に最適となるような設計を行いました。
199	鴻沼川の改修及び流域整備	建設局 河川課	鴻沼川の河川改修を進めるとともに、流域の公共施設に雨水流出抑制施設を設置します。	事業中	事業中	事業中	埼玉県管理の鴻沼川については、激特・床上事業が概ね完了しました。雨水貯留浸透施設については、中学校1校、小学校3校に設置しました。	7 健全な行財政運営	工事にあたっては、コスト削減の観点から、当該工事現場に最適となるような設計を行いました。
200	高沼用水路整備事業（再掲p28）	建設局 河川課	高沼用水路（導水路・東縁・西縁）の水路や護岸などの水辺環境整備を行い、市民と連携しながら、その憩いの場となる親水性の高い水辺空間づくりを進め、水と緑のネットワークの形成を図ります。	構想・検討	事業化検討	事業中	整備構想を策定するため、公募により参加された市民と沿川24自治会長の42名による会議を開催し、現地調査を含め計7回の会議を行いました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	市民参加型ワークショップによる策定会議を行いました。整備構想をまとめるにあたり、NPO法人に業務委託しました。
201	油面川排水機場整備事業	建設局 河川課	水害対策のため、油面川の下流に排水機場や調節池を整備します。	構想・検討	検討	事業中	整備基本計画に向けた検討を行いました。	-	-
202	総合雨水流出抑制対策事業	建設局 河川課	雨水流出量の抑制による治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置や農地などにおける保水・遊水機能の保持、透水舗装の推進などを行います。	構想・検討	推進	推進	総合雨水流出抑制対策指針により、関係各課と総合的な雨水対策を進めました。	7 健全な行財政運営	工事にあたっては、コスト削減の観点から使用材料や工法を選定しました。

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
203	警防体制高度化推進事業	消防局 警防課	大規模災害や特殊災害（化学テロ、水難事故）などに対応できる、警防体制の確立とその活動に必要な特殊車両の配備を計画的に進めます。	構想・検討	推進	推進	消防団車両を3台更新しました（中央分団、西分団、美園第1分団車両）。更新車両14台を配備し、新規車両2台（指揮支援車・後方支援車）を配備しました。	7 健全な行財政運営	各種車両については、長期的な更新・整備計画を策定し財政運営の効率化を図るとともに、資機材については、極力再利用に努めました。
204	消防署・所の整備	消防局 消防総務課	本市の人口に応じた消防力を確保していくため、消防署・所の新設や移転、建替えなどを行い、計画的に整備を進めます。	事業中	事業中	推進	西消防署は、増築工事を行いました。緑消防署美園出張所は、電波障害事前調査、家屋事前調査、建設工事を行いました。浦和消防署日の出出張所及び大宮消防署大成出張所は、地積測量、地質調査、基本設計を行いました。	7 健全な行財政運営	工事にあたっては、コスト削減の観点から使用材料・工法を選定しました。
第2節 事故や犯罪の防止									
205	交通安全施設設置事業	市民局 交通安全課	道路照明灯（水銀灯）の設置、見通しの悪い交差点や屈曲などがある危険な箇所への道路反射鏡の設置を進めます。	道路照明灯（水銀灯） 22,066灯 道路反射鏡 10,448基	23,538灯 10,917基	27,600灯 12,400基	道路照明灯（水銀灯）を1,472灯設置し、見通しの悪い交差点に道路反射鏡を469基設置しました。	7 健全な行財政運営	水銀灯相当の照度がある蛍光灯を設置することにより、コスト削減に努め設置灯数を増やしました。
206	あんしん歩行エリアの整備	建設局 道路環境課	市街地内の事故発生率が高い地区において、おおむね1km ² のエリアを設定し、公安委員会と連携して面的・総合的な交通安全対策を進めます。	事業中	事業中	一部完成	武蔵浦和沼影地区、東大宮駅東口地区の整備を実施しました。埼玉県公安委員会と連携し、エリア内の面的かつ総合的な死傷事故抑止対策を講じました。	-	-
207	事故危険箇所緊急対策事業	建設局 道路環境課	事故危険箇所（23か所）において、交差点改良などの道路整備や信号機設置などの交通安全対策を進めます。	事業中	事業中	完成 (19年度)	23箇所の事故危険箇所対策（交差点改良、道路照明、視線誘導標、区画線、道路標示など）を実施しました。埼玉県公安委員会と連携し、交通安全施設などの整備を集中的に実施することにより、事業効果を高めました。	-	-
208	歩道整備事業（再掲p76）	建設局 道路環境課	自動車や自転車、歩行者の交通量が多く、通行に危険な区間や学童の通学路となっている区間について、歩道を設置します。	事業中	事業中	一部完成	歩道の新設・改築のため、用地取得や工事を行いました。	8 公共施設の適正配置	歩行者の多い路線や通学路を優先に歩行空間の整備を進めました。

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
209	交通渋滞解消事業（さいたまの道スムーズプラン）（再掲p78）	建設局 道路環境課	交通渋滞を解消するため、右折車線を確保するための車道の拡幅やすみ切りの設置、信号制御の適正化など交差点の改良を進めます。併せて道路の拡幅を伴わない暫定右折レーンや交差点付近のバス停を対象とするバスベイスの整備により、効果的な渋滞解消を早期に図ります。	事業中	事業中	一部完成	平成17年度の事業計画策定に向けて、整備箇所の特定や資料収集を行いました。	7 営 健全な行財政運	コスト削減の観点から、バス会社の意見なども取り入れ、少ない経費で事業効果が期待できる事業箇所を特定しました。
210	青少年の健全育成事業（再掲p56）	市民局 青少年課	青少年の健全育成のため、巡回活動やキャンペーン、青少年施設などの運営、青少年育成さいたま市民会議への支援などを行います。	推進	推進	推進	青少年育成さいたま市民会議による巡回活動を延べ1,371日実施しました。非行防止キャンペーンを、大宮・さいたま新都心・浦和駅の各駅で実施しました。猿花キャンプ場利用者は4,953名、成人式参加率は69.47%でした。	1 協働の仕組みづくり・具体化 3 市民活動の支援 6 行政評価システムの構築と運用	市民会議では、青少年健全育成への全市的な機運高揚を図るため、非行防止キャンペーン、事例発表、研修会、巡回活動Q&A配布などを行いました。また、成人式の実施にあたり、運営ボランティアの拡大や動員職員の削減などにより経費削減に努めました。
211	防犯対策事業	市民局 市民総務課	市民生活の安全を確保するため、自治会や警察と連携しながら組織的な地域防犯活動を推進するとともに、首都圏の都県・政令指定都市とも協力し、広域的な対応も含めた防犯対策を実施します。	推進	推進	充実	防犯協会や暴力排除推進協議会に対して補助するとともに、パトロールを円滑に行うため、地域防犯推進員に対する防犯用品の配布などを行いました。	1 協働の仕組みづくり・具体化 3 市民活動の支援	市内を巡回する事業者者に犯罪、不審者情報を通報してもらうため、「地域安全協定」を締結しました。
212	消費生活安全事業	市民局 消費生活総合センター	消費生活にかかる情報を市民に提供し、商品購入などに際し適正な契約が行えるよう、消費者の自立支援や啓発活動、消費生活相談を充実します。	推進	推進	充実	消費生活にかかる相談を14,770件受けました。消費者に対する啓発講座を45回開催するとともに、消費生活展を開いて啓発を行いました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	消費者団体との共催で消費生活展を開催しました。
第3節 生活基盤の整備									
213	上水道老朽管・浄配水場整備更新事業	水道局 施設課	安定的な給水の確保を図るため、老朽化した水道管や上水道の基幹施設である浄水場・配水場の更新・改良を計画的に行います。	事業中	事業中	推進	石綿セメント管布設替工事（L=2,363m）、铸铁管布設替工事（L=8,426m）を行い、計L=10,789m更新しました。また、日進浄水場及び東浦和浄水場受配電設備更新工事、大宮配水場配水ポンプ増設実施設計、南浦和浄水場受配電設備改良実施設計を行いました。	7 営 健全な行財政運	水道管の浅層埋設や積極的に建設副産物を再利用することなどによりコスト削減を図りました。
214	上水道施設耐震化事業	水道局 施設課	地震や災害などに備えて、浄水場・配水場などの上水道基幹施設の耐震化を図ります。	事業中	事業中	推進	北部配水場、日進浄水場、東浦和浄水場、尾間木配水場（擁壁）について、震災補強対策工事を実施しました。	7 営 健全な行財政運	工事にあたっては、最新の工法を採用することなどにより、コスト削減を図りました。

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
215	下水道汚水事業	建設局 下水道計画課	市民の生活環境や公共用水域の水質保全のため、市街化区域に公共下水道を優先的に整備します。市街化調整区域においては整備に取り組みます。	下水道普及率 80.7%	81.9%	88%	整備面積は198.9haで、下水道普及率を1.2%上昇させました。	7 営 健全な行財政運	工事にあたっては、最新技術を採用するなど、コスト削減を図って設計を行いました。
216	下水道合流改善事業（浸水対策）	建設局 下水道計画課	合流式下水道区域における浸水被害の防止対策として、貯留管やバイパス管を敷設します。	対策済面積 23ha	23ha	99ha	平成15年度から4か年の継続事業の2か年目として、貯留管整備工事を進めました。	7 営 健全な行財政運	貯留管工事において、シールド工事の二次覆工が省略できる工法を採用することで、コスト削減を図りました。
217	下水道合流緊急改善事業（水質対策）	建設局 下水道計画課	大雨時における合流式下水道区域から直接放流される未処理下水を原因とする河川などの水質汚濁を防止するため、ごみを除去するろ過スクリーンや貯留施設を設置します。	構想・検討	事業化検討	事業中	合流式下水道緊急改善計画を策定しました。	1 協働の仕組みづくり・具体化	合流式下水道緊急改善計画の策定にあたり、有識者や公的団体などの委員からなるアドバイザー会議を設置し、計画を策定しました。
218	下水道雨水事業	建設局 下水道計画課	浸水被害を防ぐため、雨水幹線や雨水調整池などを整備します。	事業中	事業中	推進	五味貝戸都市下水路の整備が完成しました。雨水幹線整備については、雨水管きょなど21件の工事を実施しました。	7 営 健全な行財政運	工事にあたっては、最新技術を採用するなど、コスト削減を図って設計を行いました。
219	下水道老朽管・中継ポンプ場整備更新	建設局 下水道維持管理課	老朽化した公共下水道管の改築・更新工事や中継ポンプ場の電気・機械設備の更新を計画的に行います。	事業中	事業中	推進	老朽管更新として管更生及び敷設管を8箇所、中継ポンプ場更新の実施設計を1箇所で行いました。	7 営 8 公共施設の適正配置	実施設計において、施設が稼働しているため、工事実施時の仮設費の削減のためマンホールポンプを設置し、スムーズな更新が可能となるよう設計しました。また、工事費、ランニングコスト削減の見地から施設の見直しを行い設計に反映しました。
220	市営住宅建替事業	建設局 住宅課	老朽化した峰岸住宅や道祖土戸崎団地などの建替を計画的に進めます。	構想・検討	検討	推進	建替対象団地の検討を行いました。	—	—
221	（仮）市営春野団地建設事業	建設局 住宅課	市営住宅建替事業を円滑に推進するため、建替対象団地入居者の移転先となる住宅を見沼区春野に整備します。	構想・検討	事業化検討	事業中	基本・実施設計、地質調査を行いました。	8 公共施設の適正配置	計画敷地内への福祉施設の併設を検討しました。
222	特定優良賃貸住宅供給促進事業（再掲p37）	建設局 住宅課	子育て家庭を支援するため、優良な民間賃貸住宅を認定し、供給促進のための建設費補助（中心市街地が対象）や入居者支援を行います。	推進	推進	推進	平成17年1月から特定優良賃貸住宅が、緑区の1箇所、入居できる状態となりました。	—	—
223	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業（再掲p41）	建設局 住宅課	高齢者世帯を支援するため、優良な民間賃貸住宅を認定し、供給促進のための建設費補助や入居者支援を行います。	推進	推進	推進	建設費補助を2件、家賃対策補助を4戸に対して行いました。	—	—

平成16年度実施状況について

番号	事業の名称	担当課	事業の概要	現況（H15年度末）	H16年度実績	H20年度末の目標	H16年度実施内容	都市経営の基本戦略のアプローチ	アプローチに関連する取組内容
224	火葬場・周辺環境整備事業	保健福祉局 大宮聖苑管理事務所 建設局 北部建設事務所 所道路建設課	老朽化した大宮火葬場を片柳地区に移転再整備するとともに、染谷新道を含む生活道路などの周辺環境整備を行います。	事業中	事業中	事業中	生活道路などの環境整備を行いました。	—	—
225	葬祭施設・墓地・納骨堂の整備	保健福祉局 思い出の里市営霊園事務所	市民の墓地需要にこたえるため、墓地の整備を進めます。	2,218区画	0区画	3,812区画	墓地整備計画の見直しを行いました。	—	—